



KOEKI
UNIVERSITY

ハ

カ

タ

タ

ラ

チ

ク

Vol. 1



はじめに

皆さんこんにちは！ ハタラクカタチです！！
まずはこの冊子をお手に取っていただきありがとうございます。

私たちは庄内において、若者にとって魅力のある企業を若者目線で発信しようという取り組みからハタラクカタチとして結成しました。

ハタラクカタチというチーム名には、

一人ひとりの働き方と〇や△など様々な種類があるカタチ（形）

が掛けられていて、そこで働く人々のそれぞれ違った仕事のやりがいや目的が、一人として同じ形は存在しないだろうという思いが込められています。

今回、この冊子を作るにあたっては多くの企業の方々のご協力を賜り、実際に企業を訪問して、

「ワーク」と「ライフ」という2つの視点から、そこで働く公益大の卒業生や若い従業員の方にお話をお聞きし、チームで試行錯誤しながら、多くの方の協力もあってようやく完成することができました。

協力してくださった企業関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。

（インタビューさせていただいた本学卒業生には〇期生と記載しています。）

この冊子を読んで、これから社会に出て頑張ろうと考えている若者、学生に少しでもここ庄内で頑張る企業の魅力や、働いている方々の思いが伝われば幸いです。

もくじ

- P4 医療法人社団みつわ会
- P6 加藤総業株式会社
- P8 株式会社佐藤工務
- P10 庄内みどり農業協同組合
- P12 生活協同組合共立社
- P14 東北旭段ボール株式会社
- P16 株式会社プレステージ・インターナショナル山形 BPO ガーデン
- P18 株式会社八幡自動車商会
- P20 あとがき
- P22 おすすめサイト一覧



東北公益文科大学

ハタラクカタチ

プロジェクトリーダー

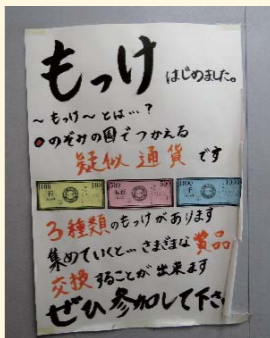


長南 大輝

医療法人社団みつわ会

老人保健施設 のぞみの園

利用者の幸せをみんなで作る



本社所在地：山形県鶴岡市茅原町 26 番 23 号 基本理念：福祉の心・地域貢献・職員の幸せ
 法人設立：平成 4 年 7 月 1 日 URL: <http://mitsuwakai.com/>
 事業内容：老人福祉・介護事業
 従業員数：290 名



Q. お二人の仕事内容について教えてください。

遠田さん：支援相談員という職種で働いております。主に、施設を利用したい方の入所相談を受け、その方が利用するまでの窓口となることを担当しています。色々な職種で連携しながら、退所の支援も併せて行っています。

村崎さん：僕は、利用者に向けた、デイサービスやデイケアと呼ばれる、通所部門を担当しています。

Q. みつわ会に来たきっかけを教えてください。

遠田：山形で行われた合同説明会で初めてみつわ会を知りました。そこで一番魅力だと思ったのは、介護の職員さんや医療職などの色々な職種があったり、老人保健施設以外の施設との連携を図ったりするなかで、高齢者福祉を考える部分を広げていけると思ったところが、応募につながりかけた。

村崎：山形の短期大学に通っていて、地元には戻らずに山形や仙台に残って就職しようと思っていました。ですが、なかなか自分が行きたいと思う事業所がなく、一度鶴岡に帰ってきた時に、みつわ会の求人を見て施設見学に行き、印象が良かったので、ここで働いています。

Q. これまでの人生でやってきたことで今に生かされていることを教えてください。

遠田：高校の頃まで、進路を考える時には介護しか見えていなかったのですが、先生などから話を聞く中で、自分が介護をやれるのか不安になった時期がありました。その時に、少し視野を広げて福祉を見てみた時に初めて、色々な分野で活躍できる社会福祉士という資格があるということを知りました。それがなかったら、今の仕事にもつながっていません。ですので、視野を広く持つということがとても大事だったと思っています。

村崎：僕たちが生まれてきた環境と、利用者の皆さんが歩んできた人生とは、かなり違いがあり、戦争の話や苦労してきた話など、利用者さんとの関わりの中で、凄く深く考えさせられることもありました。自分たちの世代で当たり前だと思ってることも、感謝しなければいけないということも、この仕事を選んだから分かったことだと思っていて、自分の子どもにも伝えていきたいことだと思っています。

Q. みつわ会さんが行っている「パウリニユール」という活動について教えてください。

遠田：利用者さんにウエディングドレスを着てもらい、2回目の結婚式を行うというのが、「パウリニユール」です。平成 28 年から毎年 2 回ほどの頻度で行っていて、結構長く続いています。このような活動での笑顔を見ると、介護は大事な仕事だと改めて感じます。

村崎：経緯としては、ウエディングドレスを購入して利用者さんに着てもらい、喜ばせたいというナースの訴えが始まりました。行ってみたら、利用者さんが凄く喜んでいて、これを違う形で活かしたいということになりました。戦争などで結婚式を挙げられない方が多く、じゃあ結婚式を挙げられないかという話につながりました。



村崎 達洋さん
2008 年入社
出身地：鶴岡市
最近の趣味：1 歳半の娘と遊ぶこと



遠田 瑞希さん
2017 年入社
(13 期生)
出身地：酒田市
最近の趣味：ドライブやライブに行くこと

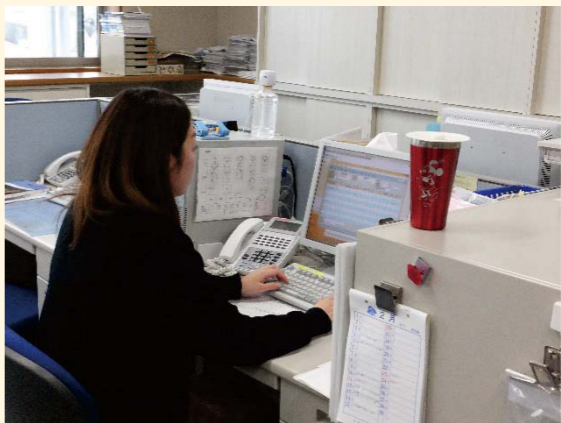
どのように結婚式を行おうかと考えていた時に、沢山の職員が提案を出して手伝ってくれました。みんながそのイベントに一生懸命になって考えるチームワークがあることがみつわ会の良いところだと思いますし、そういうチームワークがあったからこそ今も続いている行事だと思っています。

利用者 VOICE

利用者の方と施設の方の笑顔が輝いており、施設全体から温かい雰囲気を感じました。働き方も多種多様で、色々な方が働いていることも知ることができました。ありがとうございました。

加藤総業株式会社

郷土とともに、資材を通じて豊かな未来を創る



本社所在地：山形県酒田市東町1丁目1番地の8
 創業：1899年5月
 事業内容：土木資材・セメント・生コンクリート・鉄鋼・建築資材・再生可能エネルギー・空き家・プール・複合機・保険
 従業員数：46名
 基本理念：全社員の物心両面の幸福を追求すると同時に地域社会の進歩発展に貢献すること。
 URL：<http://katosogyo.co.jp/>



Q. 仕事内容について教えてください。

原さん：鶴岡営業所で土木資材の営業をしています。目に見えるものだと、ガードレールとかを販売しています。

本間さん：第二営業部で住宅のサッシやその部品、ガラス等を主に受注発注、伝票処理等を行っています。

Q. 仕事の面白さは何ですか。

原：いろいろな出会いがあって面白いですね。色々な人がいて、その中から仕事抜きで友達になる人も出て来るからね。社会人になると、お互いに利害関係が生まれたり、結婚等で付き合いが無くなったりして友達が減ってくるから。

Q. なぜ庄内に戻って働こうと思ったのですか。

原：地元だからですね。もともと30歳になったら酒田に戻るイメージがあつて、そのくらいになったら、戻るかと思いました。

本間：私は、進学、就職含めて7年位地元を離れたのですがその都度、帰省等で帰ってきたときに、自然とか、あと人の温かさですね。それはやっぱり地元の良さだと思いつつ、まあそれをきっかけに今回帰って地元で働きたいと思って、Uターンという形で戻ってきました。

Q. 庄内でなければいけない理由は何ですか。

本間：地元だからですかねやっぱり。ずっと生まれ育っているところからの安心感というか。周りの人達も結構、ここら辺で働いていても知り合いばかりだったりするので、そういった安心感と言うか心理的な安定はあります。

Q. この企業を選んだ理由は何ですか。

本間：私は今、実家に住んでいるんですけども、近所で弊社の風車が回っておりまして、そのことから会社名は知っていました。そのこともありまして、昨年120周年を迎えて、地元根付いて長く安定した会社だったというのが当時の私にとって魅力的でした。

Q. もうすぐ入社して1年ということでしたが、この企業で働き続けようと思う理由はなんですか。

本間：まず入ってすぐ思ったのは、すごくアットホームな会社なので本当に入ってみても人が良くって。とにかくお客様も割とそう、柔軟な方と云うか、いいよ、いいよとか、そんな急いでないよ、とか優しい人が多かったからですかね。あと残業がない。あんまり(笑)

Q. 新人研修で学んだことは何ですか。

本間：研修期間ということとで6ヶ月くらい試用期間がありました。業務はもちろんのことですけど、やっぱり商品知識が全くないところから始まったものですからお客様の電話をとっても、今でもお客様が求めている「こういうのなにか」というのに対してパツと答えられなかったりするんですね。山のような商品の中からどれだろうって探すの。まあ自分で探すのも一つだと思っただけですけど、お客様を第一に考えるんだったら先輩社員に聞いてみたり、自分の誠意を押し付けるんじゃないかって、お客様のことを一番に考えなきゃいけないということを研修中に思いました。

Q. これまでの人生でやってきたことで、今に生かされていることは何ですか。

本間：周りの人を大切にするとか。あと感謝の言葉はたくさん言葉にして出すこと。

Q. 学生時代とのギャップはなんですか。

原：真剣さだと思う。学生の時はいろんな意味で自己責任だったけど、職場では自分がミスをし



本間 茜さん
 2019年入社
 出身地：遊佐町
 趣味：ハイキング
 山登り



原 孝輔さん
 2012年入社
 (1期生)
 出身地：酒田市
 趣味：友達と飲みに行くこと

たら周りも損をしてしまうからね。あと、真剣みが足りないとかケガをしてしまうから。Q. やっぱり帰ってきて一番地元がいいって感じますか。

本間：そうですねこれは思いますね。家族がいるのも大きいんですけど、とにかく人が優しい。大阪

リサワ's VOICE

質問内容に率直に答えて頂き、ありがとうございました。資材置き場等も拝見させて頂き貴重な機会でした。楽しく取材させて頂きありがとうございました。

も人はすごく優しく。でも質が違うと言うか、こう、ほんわかしたこの雰囲気がいいですね。Q. あなたにとってハタラクとは。原：ご飯を食べるためにすることです。本間：成長する機会ですかね。やっぱり学生の頃と違って年を追うごとに指導してくれる人、まあ怒ってくれるじゃないけど、指導してくれる人って年々減っていくじゃないですか。だんだん下の後輩の方が入ってきてとか、とにかく社内だけでなく取引先の方、一般のお客様もそうですし、普通にただ荷物を置きに来てくれる業者の方とかも、なんとなく話をしていただけでもこういう考え方であったり、そういう人がいたりということから成長できるのかなと思います。

株式会社 佐藤工務

時代の変化に対応できる企業づくり



本社所在地：山形県鶴岡市東新斎町 7-61

創業：1954年6月1日

事業内容：総合建設業・不動産業・一級建築士事務所・産業廃棄物収集運搬業・損害保険代理業・林業・素材性産業

従業員数：98名

基本理念：自然と環境の調和を創造し地域社会に奉仕する

URL：<http://www.satoh-kohmu.co.jp/>



Q. 仕事内容を教えてください。
真柄さん：所属は企画営業部で、主に工事を受注するために、工事案件をチェックし、工事を取るために必要な書類をつくっています。

渡部さん：私は林業部門担当で書類づくりがメインです。あとは木材の生産ですとか持続的な森林資源の活用を促すという仕事内容になっています。

Q. 庄内で働くと思った理由は？

真柄：ずっと庄内で生活してきて、育った環境で住みやすいし、働くのだったら少しでも庄内に貢献ができればいいなと思いました。

渡部：もともと植物が好きで、東京の大学に進んだのですが、就職をするときに、せっかくだったら学んだことを地元で地域の人や様々なことに貢献できたらいいなと思い、庄内で働きたいと思いました。

Q. 働いてみての学生時代とのギャップをお願いします。

真柄：一番は時間を守らなくてはいけないこと。あとは、今までは自分のミスは自分でどうにかりますが、社会人になると自分がミスしてしまうと会社や他の人に迷惑をかけてしまうことですね。

渡部：自分の行動に責任を持たなければならぬことだと思います。社会人になると責任を自分で背負わなければいけない。それは重いことに捉えられがちですが、その分、自分のやっている仕事には重要性がありますし、それだけ期待されているのかなと思います。そのため、自分の仕事でミスをしないようにはどうするかと気をつけるようになりました。

Q. これから就活する人たちに向けてのアドバイスをお願いします。

真柄：就活を始めたときは何をしたらいいかわからなかったけれど、合同説明会に参加して営業をやってみたいという考えが生まれたので、合同説明会は大事になってきますね。

渡部：自分はこういう人間ですというのを自分なりの言葉で表現し、アピールできるようにすれば強い

と思います。合同説明会は企業にこだわらないで、様々な企業にいき、そこから自分に合うところを見つけていけば良いと思います。準備は早いに越したことはないですね。

フリートーク

真柄：実際県外の方が給料は良いので、そういった面では県外がいいなと思います。

学生：それでも庄内が好きってことですか。

真柄：楽ですからね(笑)。生活するうえでストレス無いのが一番です。



学生：頼れる人が近くにいると安心しますね。

渡部：確かに買い物や交通の便でいうと東京の方が暮らしやすいと思いますが、庄内は料理が美味しく、自然も豊かなので私は魅力を感じます。

カハシ's VOICE

佐藤工務さんは他にも、資格取得の際のサポートや社員旅行もあるようです。働きたくなるお話を沢山聞きました！

Q. 学生時代にやっておいた方が良いことはありますか。
渡部：友達とわいわい遊ぶことです。社会人になったら集まることが中々できなくなりますからね。
真柄：もう少し勉強しておけばよかったと思います。漢字読めないと恥ずかしいので、基礎的な学力は身に付けておいたほうがいいです。

<p>真柄 涼さん 2018年入社 (14期生) 出身地：鶴岡市 休日の過ごし方：友達と遊ぶ・遠出をする</p>	
<p>渡部 瑛さん 2017年入社 出身地：庄内町 休日の過ごし方：ショッピングや旅行</p>	

Q. 会社の雰囲気や人間関係を教えてください。
真柄：年齢層はバラバラですが、みなさん優しいですし、雰囲気としては働きやすいです。最近20代も増えてきて楽しいです。
渡部：怒られることもありませんが、仕事を丁寧に優しく教えてくれるので、良い雰囲気の仕事が出来ていると思います。時に厳しく、時に優しく、という感じですね。
Q. 会社の誇れる部分はどこですか。
真柄：上司が、自分たちが頑張っているかどうかをちゃんと見てくれて、評価してくれるところがです。
渡部：一生懸命頑張っていれば必ず誰かが評価してくれます。
真柄：だから当社を辞めていく人は少ないですね。
Q. 福利厚生でいいなと思ったところはありますか。
渡部：有給は取りやすいですし、保険関係も結構充実しています。残業時間をなるべく減らしましょうという働き方改革もあります。
真柄：部にもよりますが、休日出勤は基本的に無いです。カレンダー通りに休めます。当社は1年分の休日がわかる年間カレンダーがあるので、ある程度先の予定も立てやすいです。
Q. これまでの人生でやってきたことで、今に生かされているなと思うことはありますか。
真柄：野球をやってきて身についた礼儀ですね。仕事で接するのは目上の方が多いので、礼儀が一番大事になってきます。第一印象も礼儀で決まると思っています。

庄内みどり農業協同組合

生涯の暮らしをサポートするエキスパート



本社所在地: 山形県酒田市曙町一丁目1番地
創業: 平成6年に庄内のJAが合併してJA庄内みどりを設立
事業内容: 営農指導、販売、共済、管理、農業機械(整備等)、福祉(居宅、通所、訪問、グループホーム)

従業員数: 545名
基本理念: 自然の恵みと人とのつながりを大切に農の暮らしの新たな創造によりみどり豊かな地域社会を目指します。
URL: <http://www.midorinet.or.jp/>



Q. お二人の仕事内容について教えてください。

五十嵐さん: 私は、営業販売部の米穀課というところに所属しています。米穀課なので、主にお米を扱っている部署になります。私の業務としては、お米、大豆、そば、に関する契約や予約関係の業務です。あとはお米の集荷やそれに付随してその農産物を出すに当たって検査する方々の関係業務や検査の買い入れする業務など、いろいろあります。

池田さん: 私は、八幡支店の金融課に所属しています。主な仕事としては窓口業務で、例えば貯金の入出金や口座開設、振り込みなど公共料金を納める方の手続きをしています。

Q. なぜJA庄内みどりを志望されたか教えてください。

池田: 私は就職活動で金融志望だったというのと、大学四年間の学習で福祉を専攻していたので両方生かせる仕事が農協というところで、農協を志望しました。

五十嵐: 私は面接のときに言ったのですが、人が生きていく上で必要なものって衣食住あるわけじゃないですか。私が「食が好き」というのもあるのですが、食の原点といえる業務に携わっていきたくったなと思ったからです。

Q. JA庄内みどりに入社して一番良かったと思うことは何ですか。

五十嵐: 十五年働いた身からすると、様々な業務が出来ることですね。営農企画課という営農の企画部門にいたこともありますし、その後は畜産課で、牛さんを追っかけてたこともありました。他には資材店舗という農薬や肥料を売るお店で販売をしたり、貯金やクレジットカードや年金などを推進するための外回りもしていました。農協観光という旅行会社にいた時もありました。色々な仕事を体験しました。色々な仕事が出来るとというのが、良かった点だと思います。

他には組合員の方々、お客様、農協の人もですが、酒田の人たちは良い人が多いし、働く上でも楽しく働いています。大変なこともあります、楽しく働ける職場だなというのが良かったところですね。

池田: 私がこの農協に入ってよかったなあとと思うことは、職員の方々やお客様である組合員の皆様があったかということですね。私は一年目で迷惑かけられることも多々ありましたが「大丈夫だ」と温かく見守ってくださったおかげで入社二年目として勤め続けることができていますので、組合員の皆様のおかげかなと思います。

Q. お二人の趣味や休日の過ごし方について教えてください。

五十嵐: 子どもが生まれたので、子どもと遊ぶことですね。

あとは最近、妻にも言われますが、健康診断でひっかかる年頃というか体型になってきたので、運動をするようにしています。

池田: 私は、平日の仕事終わりにバレエポールをしています。農協に入ったときにお世話になっている方に誘われたことがきっかけで、週2回行っていきます。



五十嵐 大輔さん
2005年入社
(1期生)
出身地: 酒田市
最近の趣味: 子どもと遊ぶこと



池田 絵美さん
2018年入社
(14期生)
出身地: 酒田市
最近の趣味: バレーボール

Q. 五十嵐さんに質問です。子育て前の働き方とお子さんが生まれたあとの働き方で変わった点はありますか。

五十嵐: 業務を「短く」ではなく「圧縮」するようにして早く家に帰るようにしています。

家族のために働くっていう意識は強くなったと思います。組合員のため、農協のために働いているけれど、家族のためにという思いも強くなりました。

Q. 大学時代にやっておけば良かったことはなんですか。

五十嵐: 勉強ももちろんですが、アルバイトもサークル活動も人並みに経験しましたが今、振り返ると海外留学すれば良かったなと思います。学生は、夏休みや春休みなどがありますからね。そのときでいいかなと思います。働いてからだと制限があったり、やれることが限られてきたりするので、若いからこそのことをして欲しいです。

池田: 社会人になると休みや自由な時間は限られてきます。私が経験して良かったと思うのは、アルバイトやサークル活動などです。そのような学習外の活動が充実すると、その経験が社会人生活にも活かされるのではないかと思います。

ホリ'sVOICE

取材中も笑顔が絶えず、楽しい雰囲気です。取材をすることができました。庄内みどり農業協同組合さんの業務内容はもちろんですが、働く人のプライベートルなども見ることができて良かったです。ありがとうございました。

生活協同組合 共立社

いつまでも住み続けられるまちづくりを求めて



基本理念：生協は「一人は万人のために、万人は一人のために」という言葉があるように、「たすけあい」の心をもって、平和で明るい地域社会に貢献し、心身共に豊かな生活を目指すことを目的としています。

URL: www.yamagata.coop/



本社所在地：山形県鶴岡市宝田1丁目3-23

創業：1955年11月19日

事業内容：供給事業（店舗、共同購入、灯油）、共済事業、福祉事業、葬祭事業、サービス事業

従業員数：職員215人 嘱託・パート868人

Q. お二人の仕事内容について教えてください。

齋藤さん…私が、今行っている仕事の内容は、生協の組合員の方のご自宅や組合員が勤めているような職場にその方が注文した商品を届けて、注文書をお預かりして行く仕事です。他にも生協の商品やサービスのご提案とかを行いつつ、毎週月曜から金曜まで決まったコースがあるのでそこを基本的には周って配達をしています。

池田さん…私も配達をしながら、共済や、昨年からの電気の小売りを始めたのでそういったお知らせをしています。

Q. 仕事の中でやりがいを感じる場所はどこですか。

齋藤…商品をただ単純に届けて、組合員が受け取るというそれだけの関係ではなくて、さらに一歩踏み込んで組合員の生活に密着したものになるので、いろいろな場面で感謝の言葉を伝えられるのですが、やはりそういった感謝の言葉、気持ちを伝えられた時が、自分がこの仕事をやっていてよかったなと思うところです。それがすごいやりがいを感じると思います。

池田…私は二つあって、一つは齋藤さんと同じように最初はよそよそしかった組合員が徐々に打ち解けてくれて、

解決や提案をして、その人の要望に応えられるというのが生協で働くことかなと思います。

Q. お二人の休日の過ごし方を教えてください。

齋藤…自宅でのんびり音楽を聴いたり、本を読んだりしています。晴れている日にはドライブへ行ったり山登りをしたり。ゆったりしたい日には、とことんゆったりと、遊びたい日は遊び尽くしています。

池田…両親と休みが合えば山形市や新庄市、秋田県などへ遠出し、買い物やイベント展へ行きます。

Q. 学生にアドバイスはありますか。

齋藤…大学生は結構時間があると思うので、遊べるときは遊んで、テスト勉強やレポートに集中して取り組まなきゃいけないことはしっかりやって、オンオフをしっかり切り替えるように心掛けて生活していった方がいいと思います。

池田…入りたい会社や、やりたい仕事があると思いますが、先入観を持たずにいろいろ他の業種なんかも受けて、自分に合った会社を見つけて頑張ってください。

ウナン's VOICE

配達前のお忙しい中、私たちを明るく受け入れてくださり、楽しい雰囲気取材させていただきました。実際に積み込みをするハタラク姿も見せていただいて貴重な経験になりました。ありがとうございました。

家庭のことや、色々な話をしてくれた時と、コースを一人で受け持つので責任が大きいですけど、自分で考えて工夫してできる仕事なので、去年できなかったことができるという成長したのが目に見えて実感できるっていうのがすごいやりがいがある仕事だと思います。

Q. 庄内で働くことと思った理由はありますか。

齋藤…自分の住んでいる地域は生協が身近にある地域で、自分が地元が好きというのがあります。生協の仕事は組合員の生活、地域社会に根付いた仕事になるので、自分が生まれ育った地域を色々な視点から見直してみたいという思いもあったので、密接に地域と関われる生協という仕事で、そしたら自然と地元になるのかなって選択肢になりました。

池田…いきなり就職となったときに知らない土地で一人で働くというのは自分にはちょっと無理だと思いき、まずは慣れている地元からという考えでした。実際に働いてみると、改めて地元の良さを発見できたり「生協、毎日いってるよ」と言ってくくださる方もいて、生協って愛されているなと実感できました。

Q. お二人にとってハタラクとは。

齋藤…自分にとっての成長の機会かなと思います。仕事を通して自分を成長させるといって、仕事の中で組合員との日々の会話や声掛けなど色々して行く中で、コミュニケーション能力やスキルを磨いています。磨かなければ円滑な関係を築くことが出来ないの。最初は四苦八苦したんですけど毎日

の積み重ねの中で自分なりに工夫を重ねていて、以前に比べたら格段に成長できていると思います。そういった中で、自分の成長が自分にとって仕事の本質になり、自分が成長したことを他人に利益として還元させるということを目指しています。自分の仕事で例えると、組合員との日々の会話の中から困りごとに対してより良い提案をして、問題の解決につながるように自分も成長しつつ、その成長して培ったものを他者に結果

齋藤 ^{たかあき}高彬さん
2019年入社
(15期生)
出身地：鶴岡市
趣味：登山

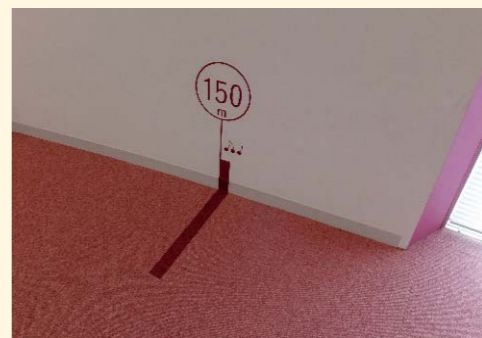
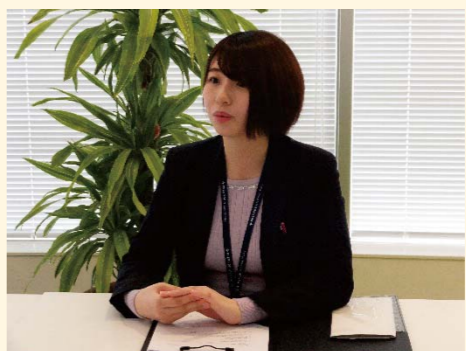


池田 ^{いけみ}胤弥さん
2016年入社
(12期生)
出身地：酒田市
趣味：ゲーム、読書



として利益還元できるようにする、というのが自分にとっての仕事の意義だと思っています。池田…必要なものをその必要としている人に届けてその人の生活をよくすることが働くってことかなと思います。組合員の暮らしの変化に気づけるので、生協の豊富な商品から様々な角度で問題の

エンドユーザーと地域に密接な縁の下の力



所在地：山形県酒田市京田 4-1-1

創業：1986年10月

事業内容：ロードアシスト事業・ワランティ事業・プロパティアシスト事業・ITソリューション事業・インシュアランス事業・カスタマーサポート事業・派遣・その他事業

従業員数：3,671人(2019年3月31日時点)

経営理念：エンドユーザー(消費者)の不便さや困ったことに耳を傾け、解決に導く事業創造を行い、その発展に伴い社会の問題を解決し、貢献できる企業として成長する。

URL：www.prestigein.com



Q. お二人の仕事内容について教えてください。

伊藤さん…海外旅行保険加入者からの電話対応などを行っています。例えば、海外から帰ってきたお客様が海外に持ち込んだものが壊れてしまったという内容や海外で病院を紹介して欲しいという内容などの電話を受け取っています。

角館さん…入社1年目は、ロードサービスの受付部署で車のトラブルの詳細を電話でお聴きしていました。2年目から、部署異動で採用担当をしています。新卒の担当をメインに行っていて、学生の方に向けて会社の魅力を伝える活動を行っています。

Q. なぜ庄内で働こうと思ったのか教えてください。

伊藤…地元に着があり、実家から職場に通える環境が良いと思ったことが大きいです。

角館…高校時代に東日本大震災が起こり、地元を離れていく人が増えたということを実感しました。その経験から、自分が地元に残り、生まれ育った東北のために何かできないかという想いを抱いて公益大に進学をしたので、東北を中心に就職活動を行いました。

Q. なぜプレステージ・インターナショナルを志望したのか教えてください。

伊藤…決め手となったのは、働く環境が整っていたことが大きいです。その方が、自分のモチベーションも上がり、仕事がしやすいと思いました。実際、職場の人間関係や雰囲気も良く、その点が自分の満足につながっています。

角館…人の役に立つ仕事に憧れていた時に当社に出会い、仕事内容が自分の求めていることに合っていたので、入社を決めました。また、当社は地域との関わりが密接で、電話業務だけでなく、地域のイベントに参加したり、地元の学校と一緒に取り組みをしたりという活動を行っています。そこが仕事をしていて楽しいと感じていて、今も働き続けています。

Q. これまでの人生経験で今に活かされていることはありますか。

伊藤…考えても解決しない問題はすぐに相談する事です。私は高校時代に一人で悩んで内気になる事が多かったのですが、誰かに相談する事で解決する問題もある事を知りました。仕事上スピード感を要するお問合せも多いので、このスキルはとも生かされています。また、相談する事でコミュニケーションが生まれ、職場の雰囲気も良くなることに最近気づきました。

角館…昔は引っ込み思案でしたが、中学生の頃このままではダメだと感じ、色々とチャレンジをするようになりまし。その経験から、「何事もチャンスだ」と思うようにしています。初めてのことをしようとする時には、不安なことが沢山

出てきて、それがネックになってしまいかと思います。ですが、いざ初めてのことをやってみると

全てが勉強になり、マイナスになることはないと思っています。何か機会があれば、全部自分のチャンスだと思って取り組むようにしています。

Q. どのようなことが角館さんのチャレンジに繋がっているのでしょうか。

角館…何か取り組んでみようと思ったことや、挑



伊藤 一樹さん
2015年入社
(11期生)
出身地：酒田市
最近の趣味：映画鑑賞・友達と遊ぶこと



角館 理子さん
2017年入社
(13期生)
出身地：岩手県
最近の趣味：温泉・猫と遊ぶこと・スノーボード

戦してみようと思ったことに対して、周りの方がサポートしてくれ。何かあれば教えてくれますし、上司も相談しやすいポジションにいられることもあり、物怖じせずに挑戦出来ています。

Q. 学生時代とのギャップはありますか。

伊藤…学生時代は、自分の中で提出期限が曖昧

でしたが、社会人になり会社では、例えば上司など周りに迷惑が掛かり、自分だけではないということと考えた時に、これまでのままではダメだと思いました。

Q. あなたにとってハタラクとは？

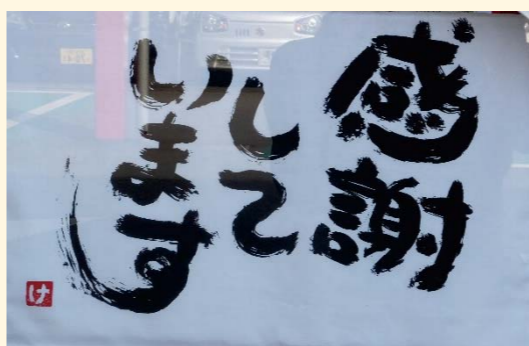
伊藤…ハタラクとは自分を成長させる手段であり、人との濃い関係性を構築することだと思っています。そのための活動が仕事で、その仕事は人生の中で必要なもののひとつです。仕事をする事で多くの人との関わりが発生し、人と接し関係性を持つことを人生の楽しみと考えています。

角館…プライベートを充実させるためにお金が必要ということもそうですが、仕事の中で自分のスキルを磨いていくということも自分のやりたいことの一つではあるので、私の中の働くことは、やりたいことを叶えるための手段の一つだと思っています。

従業員の挑戦へのサポートや相談体制の充実など、仕事がしやすい職場環境が整っていることが伺えました。また、意欲のある女性を応援するため、女性の積極的な採用および管理職への登用や企業内保育園の設置、女子スポーツチームの運営など、様々な取り組みを行っています。ありがとうございました。

八幡自動車商会

最高峰の技術力と家族の様な思いやり、
誰もが夢を持ち働けるチーム



本社所在地：山形県酒田市東両羽町 8-6

創業：1963年4月1日

事業内容：新車・中古車・車検・修理・板金・塗装・保険代理業・
車両買取

従業員数：100名

基本理念：全員の物心両面の幸せを追求し、
地域社会に貢献する。

URL：<https://yawatajidosha.net/>



Q. 仕事内容について教えてください。

森さん：「ふいの」というお店で車の販売を主にしています。軽自動車の未使用車なのですが、チラシやCMなどを見て来ていただいた方に車のご案内や販売をしています。あとはお客様の下取りなどで今まで乗っていた車など、色々な業者さんに掛け合っただけで乗っていたところを探して買い取ってもらうといった業務をさせていただいています。

Q. やりがいは何ですか。

森：営業マンですので車が売れたときがすごくうれしいです。家や車って人生の中で高い買い物だと思います。100万とか200万となりますから。そういった車を買うタイミングは人生にそんな何十回もないですよ。その一回に携われていることが凄く嬉しいです。その中にお客様自身のドラマがあって、例えば、4月からの新生活とかで、人生で初めての車という方もいれば、おじいちゃんおばあちゃんも多いので、これが人生最後の車かもねという方もいらっしゃいます。そのような方の、人生の大きいタイミングに携われているっていうのはやりがいがあるなと思っています。

Q. お客様との距離感が近いように感じますが、そこで気を付けていることはありますか。

森：車を買いたいに来ている、見に来ているお客様に、なぜ車が欲しいのか、なぜ乗り換えたいのかという買う買わないだけではなく、その向こう側、その車を買う背景まで、伺えるように気を付けています。例えば実は、ちょっと大きい車に乗ってキャンプ

に行きたいとか、実はちょっと家族が足腰悪くて、ちゃんとゆったり乗れる車が欲しいということなど、こちらに言わなくても様々な要望を持っているお客様がいらつしやいますので、そういったところを聞き出せるように質問をするよう日々意識しています。

Q. なぜ八幡自動車商会を志望したのか教えてください。

森：当社を知ったのが、公益大で行う合同説明会でした。その時に八幡自動車商会の社員が3名ぐらい来ていて、本当皆さん顔が生き生きしていて、明るくて、説明も楽しそうにしていたので、この会社なんかいい会社だなんて本当に直観的に思ったからです。

Q. 初めは板金塗装のお仕事をしていただいていたが、

森：入社当初は板金塗装の仕事をさせていただいてました。その中でお客様とお話するのも好きですし、会社のイベントなどで、地域の方と接する機会があり、上司からみて、「森さん、車直してる時もいいけど人と話しているときも楽しそうだね」というようなことを言われまして、それで「ふいの」に行ってみたらどう、という誘いがありました。異動して車のことも何も知らなかったのですが、今は販売をさせてもらっています。

Q. なぜ、庄内で働くかと思ったのですか。

森：庄内のほうが地元よりも過ごしていて心地いなど感じたのと、サークル活動で社会人の知り合いが多かったのでこの場所ならやってみようかなと思えました。あと、どちらかというと会社よりは、

庄内で働きたいなと思ったので入り口は地域の方かなと思います。

Q. ノルマがないとお聞きしましたが、

森：車の営業には個人ノルマがある方が多いと思うのですが、うちの会社は珍しく、個人ノルマはないです。みんなで店舗目標に向かって成功事例や失敗事例を共有しています。どうしてもノルマがあると自分のことしか見えなくて他の人にうまい話を教え



森 裕己さん
2015年入社
(11期生)
出身地：秋田県
趣味：バンド活動

たくなくなっちゃうので、そういったところはチームで働いているんだなと実感できるタイミングです。

Q. これまでの人生のなかの出来事で今に生かされていることはありますか。

森：営業マンとして、かなり高いものを扱わせていただいております。お客様にとっても大事な一つの決断になるのですが、そういった大きい買い物で少しでも不安などがあつたらお客様は凄くシビアにな

サワ's VOICE

やりがいや様々な経験を通して考えたことをたくさん教えていただき大変興味深かったです。また、森さんの笑顔が終始輝いていたのが印象的でした。ありがとうございました。

Q. あなたにとってハタラクとは。

森：働くって長いじゃないですか、60歳、70歳までもしかしたらやるかもしれないので、やらなくてはいけないものなので、どうせなら楽しくというのが、今の僕の「ハタラク」かなと思います。

あとかき

#ハタラクカタチメンバー紹介



#初めて取材

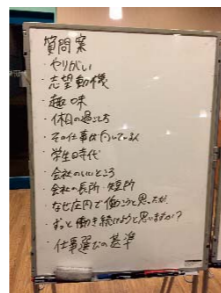


- 3年 ナリサワ メイ
- 2年 チョウナン ダイキ
- イカラシ サトミ
- イノウエ ユキ
- タカハシ アカリ
- ホリ ヒナコ
- 1年 イケダ シホ
- サトウ ケイゴ

#富山×山形



#質問案



#打合せにはお菓子と共に

#長谷川結さん×ハタラクカタチ



#毎週水曜日は会議の日

#ハタラクカタチ一同より

今年度始まったばかりの取り組みで全て手探りでしたが、なんとかカタチにすることができました。実際に取材をしてみると、インターンシップよりも会社の雰囲気を掴めるのではないかと思います。一気に庄内の様々な企業を見ることができるこの冊子を読んで損はないと思います。次号があれば、またお手にとっていただければ幸いです。読んでいただき、ありがとうございました。

E-mail : k.hatarakutatchi@gmail.com

↑お気軽にお問合せ下さい↑

スペシャルサンクス

- ・イト吉デザインラボ 長谷川結さん
- ・山形新聞社
- ・富山大学 GROW WORKS
- ・東北公益文科大学 4年生 甲田勇希さん



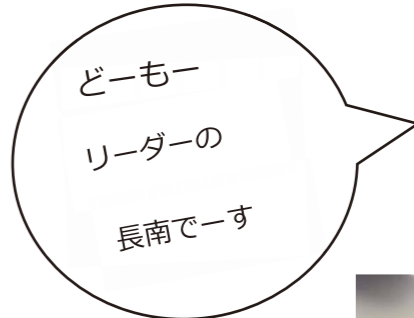
みんなの出身地は？



#自己紹介×ドキドキ



#こんな日もあったね



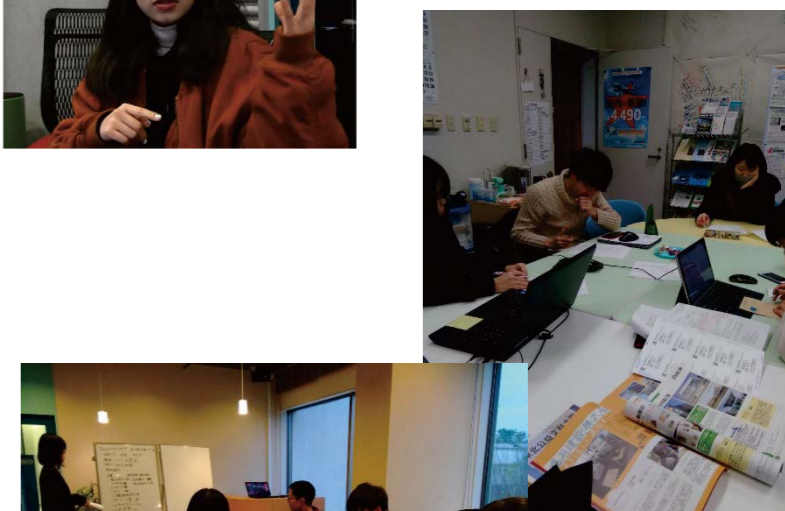
#興味津々



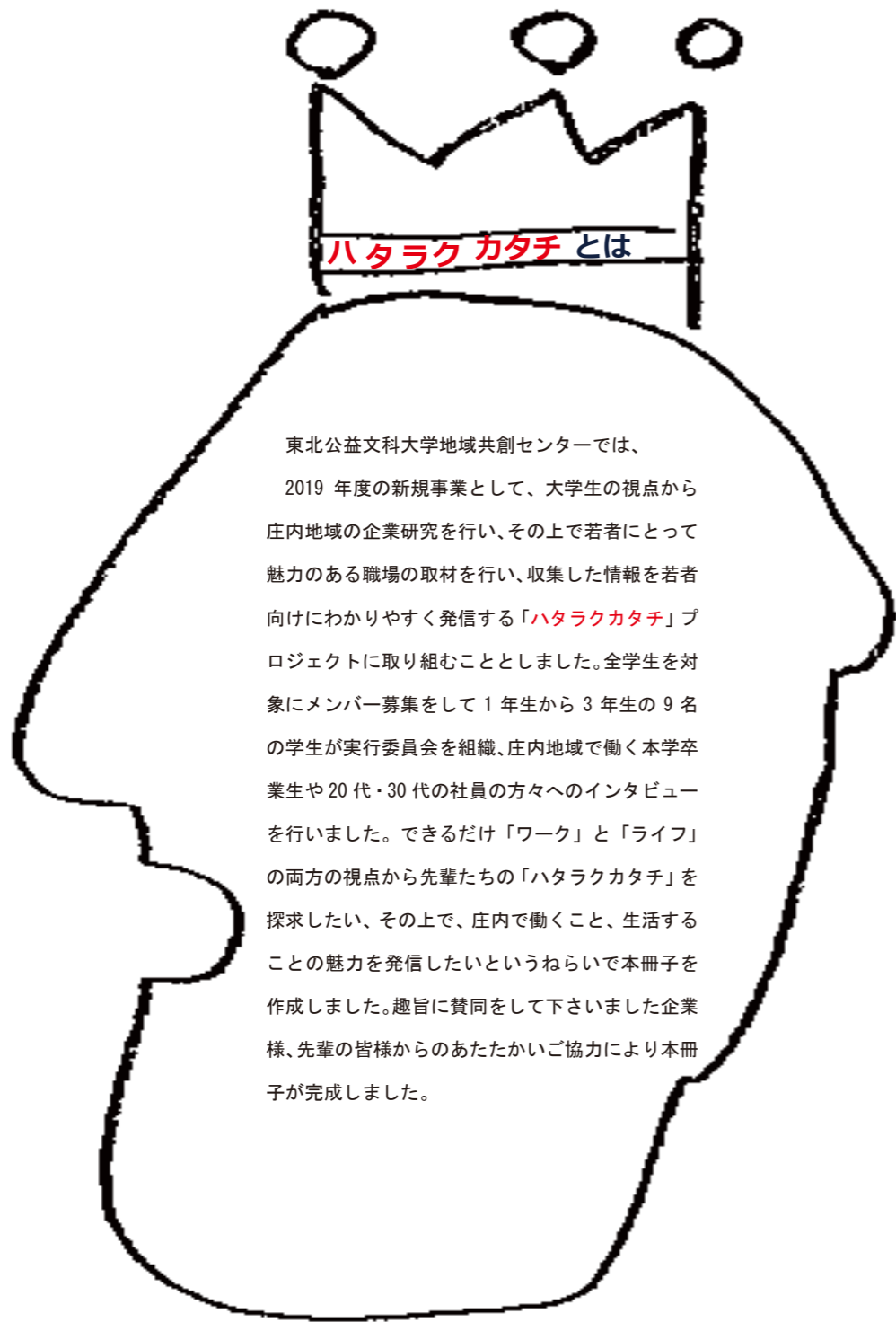
#名刺交換シミュレーション中



#完成間近！



#あーでもない、こーでもない



東北公益文科大学地域共創センターでは、
2019年度の新規事業として、大学生の視点から庄内地域の企業研究を行い、その上で若者にとって魅力のある職場の取材を行い、収集した情報を若者向けにわかりやすく発信する「ハタラクカタチ」プロジェクトに取り組むこととしました。全学生を対象にメンバー募集をして1年生から3年生の9名の学生が実行委員会を組織、庄内地域で働く本学卒業生や20代・30代の社員の方々へのインタビューを行いました。できるだけ「ワーク」と「ライフ」の両方の視点から先輩たちの「ハタラクカタチ」を探求したい、その上で、庄内で働くこと、生活することの魅力が発信したいというねらいで本冊子を作成しました。趣旨に賛同をして下さいました企業様、先輩の皆様からのあたたかいご協力により本冊子が完成しました。

©制作・編集

東北公益文科大学 ハタラクカタチプロジェクト

©発行

2020年3月

東北公益文科大学 地域共創センター

〒998-8580 山形県酒田市飯森山3丁目5番地の1

電話：0234-41-1115 FAX：0234-31-2082

Email：kyoso@koeki-u.ac.jp

おすすめサイト

ショウナイズカン

山形庄内の暮らしと仕事に出会う。就職、転職、Uターンを支援するWEBサイトです。



BIGJOB 庄内

庄内の求人情報、庄内地域の企業情報を紹介しています。



山形県就職情報サイト

山形県内の企業や求人情報が満載。先輩のインタビュー記事も掲載！



つるおか仕事ナビ

「鶴岡ではたらく」をサポート。就活に役立つ企業からの情報が満載！



ヤマガタ仕事ラボ

「山形と関わるためのアクション」を起こすきっかけを提供するWEBサイトです。



酒田市UIターン人材バンク

あなたの「酒田で働きたい！」を支援します。



いいね！庄内の企業

庄内地域の素晴らしい企業を知ってもらうために、SNSで発信しています！



キラリと光る！ 山形県村山地域の企業

学生の視点から山形県村山地域の企業がもつ魅力をSNSで情報発信しています！



もがみ仕事の魅力ガイド

最上地域の経営者とそこで働く若者にインタビューしたガイドです！



技あり米沢

山形県米沢市のものづくり企業サイト！皆様の熱い想いをかなえます。

